



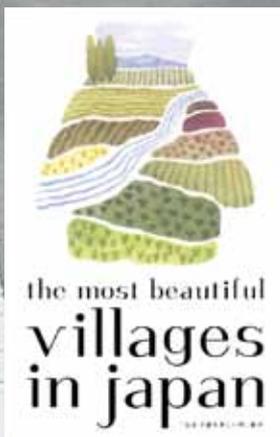
議会だより



神武天皇ご生誕の地 たかはる
日本発祥地まつり
高原町観光協会

神武の里 たかはる 神武天皇ご生誕の地
第一回 日本発祥地まつり
平成26年2月11日(建国記念の日) 主催：高原町観光協会 日本発祥地まつり実行委員会 共催：高原町

- 平成26年度一般会計予算・・・・・・・・・・・・・・・・P2~P3
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4~P8
- 一般会計予算・決算常任委員会・・・・・・・・・・P9
- 審議結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P10
- 議会基本条例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P11
- 所管事務調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P12
- 教育委員会委員の任命、陳情、議会の動き・・P13
- 農業担い手紹介、編集後記・・・・・・・・・・・・P14



■発行/高原町議会
 ■編集/議会だより編集委員会
 ☎889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地 ☎(0984)42-5138
 ■発行日 平成26年5月1日

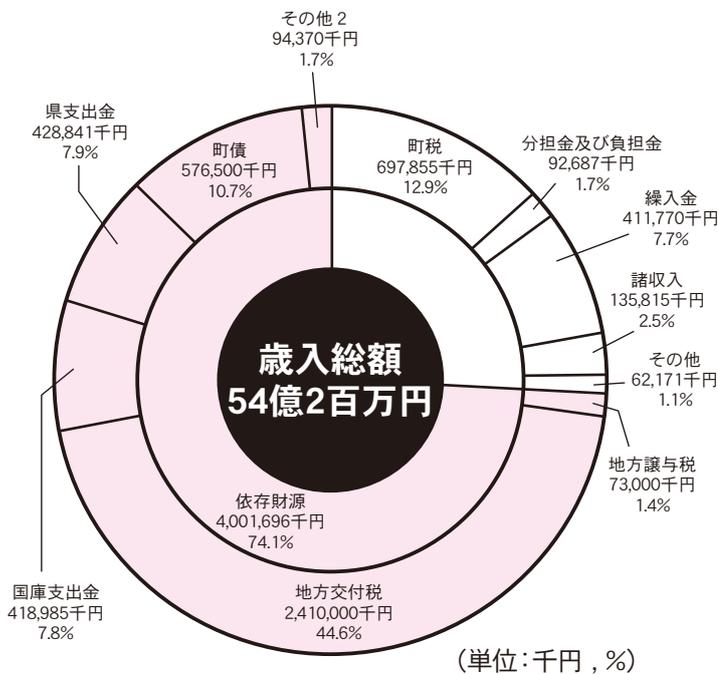
3月定例会

平成26年3月定例会は3月5日から20日までの16日間の会期で開かれました。定例会は平成26年度一般会計予算と特別会計予算及び企業会計予算の計9件、人事案件1件、条例制定及び改正7件、議会基本条例など発議4件、平成25年度補正予算7件、指定管理者の指定10件、その他4件の審議を行い、すべて原案どおり同意、可決されました。

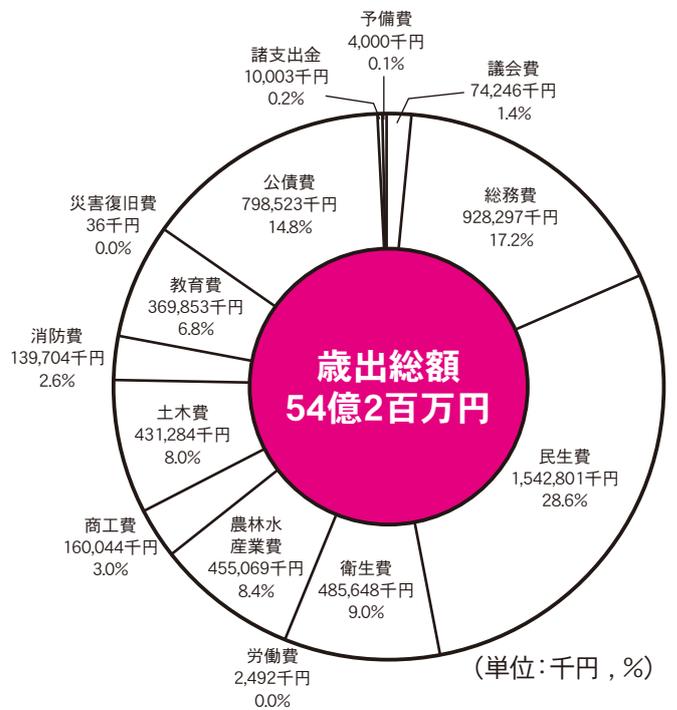
平成26年度一般会計予算

54億2百万円

歳入



歳出



(単位:千円)

区分	平成26年度当初予算 (A)	平成25年度当初予算 (B)	比較			
			増減額 (C) = (A) - (B)	増減率% (C) / (B)		
一般会計	5,402,000	5,142,000	260,000	5.1		
特別会計	住宅新築資金等貸付事業	1,300	1,300	0	-	
	農業集落排水事業	22,706	20,599	2,107	10.2	
	国民健康保険	1,693,423	1,695,017	△1,594	△0.1	
	介護保険事業	保険勘定	1,265,370	1,099,135	166,235	15.1
		サービス勘定	3,225	3,225	0	-
後期高齢者医療	312,069	301,440	10,629	3.5		
企業会計	水道事業会計 (収益的収入)	206,737	186,118	20,619	11.1	
	病院事業会計 (収益的収入)	1,024,733	1,007,838	16,895	1.7	
	工業用水道事業会計 (資本的収入)	2,300	2,300	0	-	
総計	10,336,099	9,768,711	567,388	5.8		

新年度予算 主な事業

○定住化対策事業

- * 地域おこし協力隊事業 1, 199万9千円
- * 移住・定住支援金事業 504万円
- * 婚活イベント事業 514万1千円
- * 子ども医療費助成事業 339万4千円
(小・中学生の入院費の一部を助成する)



▲地域おこし協力隊の観光PR (大分)



屋外スピーカー

○防災対策事業

- * デジタル防災無線施設整備事業 7, 723万3千円
(屋外スピーカーを3年間で公民館ごとに設置する。)
- * 楠粉山・皇子線橋梁設置事業 4, 082万円
(新燃岳噴火に伴う、避難施設緊急整備計画に基づき、避難路に橋梁を設置する。)



▲予定地のボーリング調査

たぶこ



機体活用プロジェクト“空亦”第1号機

Solaseed Air

○町制施行80周年記念事業

- * 町勢要覧作成 768万7千円
- * サイクル競技ジュニア拠点づくり 700万円
- * ソラシドエア機体活用事業 343万4千円



▲高原小4年生

○人づくり事業

- * 町費負担教員配置事業 1, 182万4千円
 - ・ 過密学級に対し、少人数授業を実施する。
(高原小、高原中)
 - ・ 複式学級での学級別授業を実施する。
(狭野小、後川内小)



▲狭野小2・3年生

○地域事業

- * 小塚活性化センター建設事業 2, 391万9千円

○産業事業

- * 県営畑地帯総合整備事業 3, 367万2千円
(鹿児島1, 2, 3期地区)
- * " 1, 098万円
(後川内1期地区)



▲畑かん事業 (鹿児島山区)

一般質問

姉妹都市、 友好都市で 活性化を



温谷文雄議員

○姉妹都市構想は

問

高原町にも、姉妹都市や友好都市がある

と人的、文化的交流や相互の物産の流通も出来、町の活性化に役立つと思うが。

答

東日本大震災地の宮城県山元町や岩手県大槌町と今後も友好的、姉妹都市的な交流を図っていく。

また、日本三奇である宮城県塩釜市塩釜神社の塩釜、兵庫県高砂市生石神社の石乃宝殿、高原町の霧島東神社の天の逆錘がある2市1町で観光パートナーシップを図っていく。

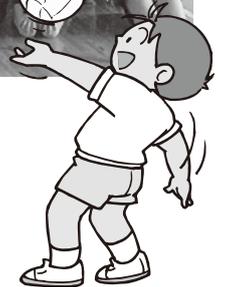
○町内に標高の表示を

問

南海トラフ地震に備え町内の主な施設や主要交差点に標高の表示を行い、ドライバー



・山元町(宮城県)と
高原町スポーツ少年団
バレーボール交流会



答

主要交差点については道路管理者と協議を進め、町の施設への設置については、今年度内に設置する。

肉用繁殖雌牛の減少を懸念!

森山 勇議員



○畜産業について

問 肉用繁殖雌牛の県内飼育頭数が減り続けている。本町の肉用繁殖雌牛の落ち込みはどうか。

答 平成19年末の520戸、5、099頭をピークに年々減少、平成25年末で393戸、4、381頭とピーク時の86%まで減少している。

問 他の畜種で飼育頭数が減少している畜産は何があるのか。

答 肥育牛は西諸管内で、24年度が38戸の4、538頭、本年度は2戸の409頭が減少、(高原町では)乳用牛は24年度12戸の762頭、本年度は11戸の697頭

となり、1戸の65頭が減少。養鶏は24年度が18戸の74万9、180羽、本年度は18戸の70万3、900羽となり、戸数は変わっていないが、羽数は4万5、280羽減少している。

問 これらの飼育頭数が減少した要因は何か。

答 肉用牛繁殖牛の減少は、飼養農家の高齢化による離農が大きな要因。25年中の肉用牛繁殖牛農家の減少は13戸、頭数で178頭減少している。西諸圏域の戸数の減少率は、本町が13戸の3・2%減、小林市が48戸の4・6%減、えびの市が

32戸の7・2%減と本町より高い減少率となった。

問 今後の必要な対策は何か。

答 繁殖雌牛頭数確保対策と生産性向上対策が重要である。

前段は高齢農家に対する和牛ヘルパー組合の充実。広域でのキャトルス

テーション(子牛育成預託)建設等が有効な対策と考えられる。

これらを支援できる体制作りをしていきたい。後段は繁殖雌牛の分娩間隔を短縮し、子牛の生産率を向上させるための対策を協議、進めているところである。



▲子牛せり市 (西諸畜連)

有害鳥獣対策 について



入佐廣登議員

○町内農作物の被害状況

は

問 野生鳥獣による被害が大きな問題となっている。平成22年度

全国の農作物の被害額は約239億円となっており、平成24年度、県内は約11億円の被害とある。高原町の被害状況は。

答

平成24年度被害面積206ha、被害額395万1千円、主にイノシシと鹿の被害が約9割を占める。地域については国有林に接する田畑で湯之元、祓川、狭野地域、そして瀬田尾、旭台、広原地域と多く、続いて霞神社周辺から旧高崎町の山林に接する後川内地域の田畑となっている。

○対応対策は

問 広原地域の立脇地区、鷹巣原地区の田畑にワイヤフェンスの設置はできないか。

平成26年度モデル地区として県に要望を出しているところである。

答

○町営住宅について
広原地区の町営住宅の取り組みと現状は。

答

現在、高原町定住対策推進本部、並びに住宅用地あっせん事業プロジェクトチームで、具体的な協議を進めているところであり、平成26年度に実施できるよう補正予算で対応したいと考

えている。

○土木行政道路整備について

問 町道上平、高原駅線の進捗状況と今後の計画について

工事進捗率は全体の計画延長2、180mに対し、1、380m、約63%となっている。今後の計画は未改良区間約800mの事業費約2億円で事業期間は平成25年度から平成29年度までの5カ年計画となっている。

答

○歩道整備を

なお、平成26年度は約200mを用地取得及び本工事着工予定。

問

県道高原野尻線、内村農機前の歩道

約40mが狭くて子供達の通学に大変危険で、現在アイワホールの敷地内を通らせて貰い学校に通っている。この歩道整備はできないか。

答

通学の安全を図るため、県へ歩道整備の要望を行っている。現在、県が測量を実施しているが、事業費や着工時期等については未定であり、今後早期整備に向けた要望をしていきたい。



▲県道高原野尻線

クラブ活動費を 就学援助に追加を



中村 昇議員

○就学援助について

問

就学援助の対象は生活保護世帯とそれに準じる程度に困窮している世帯である。就学援助の受給率は町内の小学校で平成23年度が15・7%、平成24年度が16・6%と県の14・4%を上回り増加傾向にある。これはデフレ不況が続く中で、生活が持続できない厳しい状況がある。

学校教育法第19条は「経済的に就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対し、市町村は必要な援助を与えなければならない」と規定している。平成22年4月からクラブ活動費などが就学援助に追加されたが、本

町も項目の追加を。

答

当面、実施する予定はない。



▲高原中学校剣道部の練習

○土曜授業について

問

法改正により土曜授業が可能になった。本町の考えは。

答

現時点では実施は考えていない。

○生活保護制度改悪について

問

厚生労働省は生活保護基準の見直し

に伴い、他制度に生じる影響について出来る限り影響が及ばないように、地方自治体にも適切な判断・対応をお願いしている。

答

国から基本方針などが示される中で検討したい。

○皇子原公園周辺の活用について

問

自然を生かした探索路のコースをつくり、年間通じて集客できるロードを。

答

皇子原公園を拠点に、年間を通じて健康的かつセラピー効果を体験できるウォーキングコースの設定などを考えている。

町の取り組みは。

答

市町村は対策協議会をつくり、基本計画を策定することになっているが

問

農山漁村再生可能エネルギー法が成立した。

○再生可能エネルギーについて

市町村は対策協議会をつくり、基本計画を策定することになっているが

立した。

